

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	加古川市立 鳩里小学校	研究チーム名 ( 新コミュニケーション能力開発 )
	職・氏名 教諭 神吉 直哉	

研究テーマ分類番号 ( 1 )

(1)研究テーマ
未来を拓くコミュニケーション能力の育成
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>6月25日(金) 研究授業 及び 事後研究会          単元名：本と友達になろう 「白いぼうし」          授業の具体：以下の2点が提案された。          主体性の発揮・伸長への具体的なアプローチとして、興味を広げるための「車の色は空の色」シリーズの読み聞かせの場の設定          根拠性の発揮・伸長への具体的なアプローチとして、文章から場面の様子や人物の心情を思い浮かべさせる一人学びの設定          確認された成果と課題：以下2点である。          根拠性の発揮・伸長について          単元全体を通じて文を叙述に即して捉えることができる課題に対する一人学びにより、発表が盛んに行われた。登場人物がしたことや気持ちを想像させ、書き込みをさせることでさらに発表内容にも深まりが見られた。これは、根拠性が発揮・伸長された姿であると共に、主体性が発揮・伸長された姿でもあると捉えている。          主体性の発揮・伸長について          教室の学習環境として、「車の色は空の色」シリーズの提示、各児童の机上の夏みかんの提示、蜜柑業者の方からの手紙の掲示などで、本単元が持つファンタジーの世界を存分に感じることができた。主体性の発揮・伸長を促す手立てが有効であったと思われる。</p> <p>7月1日(木) 研究授業 及び 事後研究          単元名：「はなのみち」          授業の具体：主体性の育成のための具体的なアプローチとして、以下の2つが提案された。          教科書の挿絵に描かれている動物たちの表情や様子を手がかりとして、会話や気持ちを想像し、イメージを広げていく場の設定          入門期の子どもたちへの指導として、「はい、～です。」の基本話型を使いながら自分の思いを自らの言葉で伝えようとする場の設定          確認された成果と課題：以下の3点が確認された。          主体性の発揮・伸長について          黒板全体に教科書の挿絵を自分たちの手で再現していくことは、子どもたちが物語の世界に入りやすく、イメージを膨らませていくのに有効であった。また、二人組で教科書を見ながら相談する活動が自分の思いを相手に伝える手段として大変有意義であった。また、ワークシートを使って動物たちの会話を想像させたり、お面や小道具を使って動作化させたりすることで、子どもたちがより主体的に活動することができた。          根拠性の発揮・伸長について          教科書の挿絵を根拠として、場面や様子をイメージしたり季節の移り変わりを見つけたりすることは有効であった。しかし、ひらがな学習を終えたばかりのこの時期の児童にとって、挿絵から本文にかえていくという活動が難しい児童もあった。そのため、たくさんの児童に音読をさせ、それによりそれぞれの読みとったイメージを伝えていくという手段も考えられた。          共感性の育成について          入学してからわずかな期間で、きちんとした発表形態や友だちの意見を聞く姿勢もできていた。「他の人はどうですか。」といった切り返しで、人と同じ意見でもよいという意識を持たせることが、共感性の育成につながっていくと思われる。</p>